

混迷深まるギリシャ政局

発表日：2014年12月22日(月)

～劣勢挽回に向けた首相の提案～

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

- ◇ 次期大統領選出に向けたギリシャ政局が慌しさを増している。サマラス首相は21日、与党の大統領候補を支持した野党議員を連立政権に招き入れることと、大統領選出後に2015年中にも前倒して総選挙を行うことを提案。一部の無所属議員が首相の提案に賛意を示している。
- ◇ 29日にも予定される3回目の投票で大統領を選出するには、1回目投票から20以上の支持票の上積みが必要となる。首相の提案で総選挙回避に向けやや前進したが、20日には切り崩しを狙う議員が与党候補への投票を依頼されたとする買収疑惑も浮上。大統領選出の行方は引き続き予断を許さない。

17日の第1回投票で与党の大統領候補が十分な支持票を集めることが出来なかったギリシャでは、第2回投票を23日に控え、次期大統領選出に向けた与党の説得工作が続いている。サマラス首相は21日、①与党のディマス候補を支持した野党議員を連立政権に招き入れ、親欧州派の大連立政権を組織することを提案するとともに、②野党の求めに応じ、2016年6月の議会任期を待たずに2015年中にも前倒して総選挙を行う可能性があることを示唆した。一部の無所属議員は首相の提案に賛意を示している。2回目の投票で大統領選出に必要な200票の支持を集めることは困難な情勢で、与党は第1回投票で不支持に回った無所属議員、「独立ギリシャ人 (ANEL)」、「民主左派党 (DIMAR)」の計41議員のうち20以上の支持を取り付け、29日にも予定される3回目投票で選出に必要な180票の獲得を目指している(図表1)。

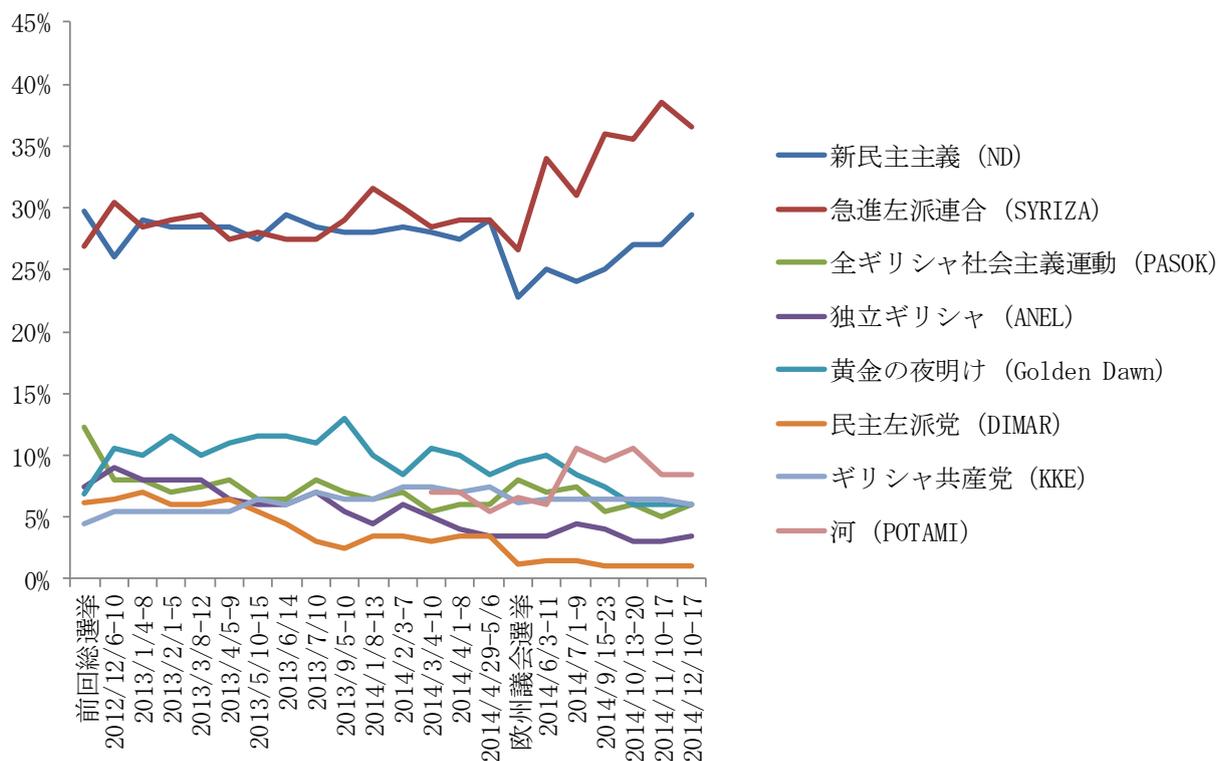
3回目の投票で大統領が選出できない場合、来年1月末にも総選挙が行われる。ギリシャの選挙制度は比例代表制で3%以上の票を獲得できない政党には議席が配分されない。最近の世論調査では、DIMARが1～2%の支持で低迷しており議席獲得が困難な一方、ANELが2～4%程度で議席獲得のボーダーライン上にいる(図表2)。かつて政権に加わっていた穏健左派のDIMARの議員の一部は、政治混乱や総選挙回避のため大統領選出に応じる可能性もある。だが、DIMAR議員の多くは、政権奪取を狙う非体制派の左派政党「急進左派連合 (Syriza)」との連携を模索しており、現政権から距離を保とうとしている。ANELはNDの除名者・離党者が旗揚げした右派政党だが、これまで与党批判や国際支援の見直しを求めて支持を集めてきた。ANELは予てより総選挙の実施を求めており、今回のサマラス首相の提案も総選挙を求めるANELや与党への復党を視野に入れる無所属議員の切り崩しを狙ったものと思われる。だが、ANELが総選挙の実施を求めてきたのは、与党の政権運営と国際支援の見直しを念頭に置いたもの。さらに20日には、ANELの議員が大金を提示され与党の大統領候補への投票を依頼されたと主張するなど買収疑惑も浮上している。国民の関心を集めており、ANELや無所属議員が与党候補に支持票を投じるのを思いとどまる可能性もある。次期大統領選出と議会の早期解散・総選挙の行方は益々混沌としてきた。

(図表1) ギリシャ大統領選出で予想される投票

【賛成が確実視される政党】	
新民主主義 (ND)	127
全ギリシャ社会主義運動 (PASOK)	28
第1回投票で賛成に回った無所属議員	5
	160
【基本反対だが切り崩しを狙う政党】	
独立ギリシャ (ANEL)	12
民主左派党 (DIMAR)	10
その他の無所属議員	19
	41
【反対が確実視される政党】	
急進左派連合 (SYRIZA)	71
黄金の夜明け (Golden Dawn)	16
ギリシャ共産党 (KKE)	12
	99

出所：各種資料より第一生命経済研究所が作成

(図表2) ギリシャの政党別支持率調査の推移



出所：電子版kathimerini (Public Issue調査) より第一生命経済研究所が作成

以上